

令和2年度 第1回さいたま市食育推進協議会（書面会議） 会議録

- ◎ 開催期間 令和2年7月20日（月）から7月31日（金）まで

- ◎ 出席者 田中委員（会長）、若杉委員、金沢委員、秋山委員、加藤委員、湊委員、鹿島委員、清水委員、川島委員、佐藤委員、小澤委員、溝口委員、江崎委員、中川委員

- ◎ 資料
 - ・ 次第
 - ・ さいたま市食育推進協議会設置要綱、運営要領
 - ・ さいたま市食育推進協議会委員名簿
 - ・ 資料1 第3次さいたま市食育推進計画 進行管理表
 - ・ 資料2 さいたま市の食育取組状況 令和元年度実績及び令和2年度予定
 - ・ 資料3 さいたま市食育なび アクセス数の推移
 - ・ 資料4 リーフレット（案）
 - ・ 資料5 次期食育推進計画について
 - ・ 資料6 国 令和元年度第3回食育推進評価専門委員会 資料（抜粋）
 - ・ 資料7 「さいたま市健康づくり推進協議会」と「さいたま市食育推進協議会」の統合について
 - ・ 資料8 「地産地消の日」を制定します（記者発表資料）
 - ・ 資料9 リーフレット
 - ・ (参考資料) 食育月間・食育の日 普及啓発ポスター
 - ・ (参考資料) 「さいたま市食育・健康なび」リーフレット
 - ・ (参考資料) 「さいたま市農情報ガイドブック（トレトリ）」冊子、マップ

◎ 議事

(1) 第3次さいたま市食育推進計画の進行管理について

- ・資料1 第3次さいたま市食育推進計画 進行管理表
- ・資料2 さいたま市の食育取組状況 令和元年度実績及び令和2年度予定
- ・資料3 さいたま市食育なび アクセス数の推移
- ・(参考資料) 食育月間・食育の日 普及啓発ポスター
- ・(参考資料) 「さいたま市食育・健康なび」リーフレット

<説明>

資料1は、計画の進捗状況を確認し、取組の評価・見直しを行うための進行管理表です。食育の目標「さいたま市5つの『食べる』」(計画書P34参照)について、1つの「食べる」を1シートとし、それぞれ5年間の推移が見えるようにしています。シートの下半分は、主な取組の成果・課題です。資料2「さいたま市の食育取組状況」をもとに、総括として記入しています。

資料1 P4下部、数値目標⑰「さいたま市食育なび」へのアクセス数 については、詳細を資料3にまとめています。

「さいたま市5つの『食べる』」の3番目“「確かな目をもって」食べる”が令和2年度の重点目標です。食中毒予防や、食品表示を確認すること、非常時に備えることなどが含まれます。参考資料として今年度のポスターを同封しましたので、ご所属等での啓発にご活用ください。

今後の食育の推進についての御意見 (名簿順)

<若杉委員>

食育への取り組みへの関心が高まっている事が分かり、嬉しく思います。

<金沢委員>

実績・成果ともに以前より定着していると思います。課題も具体的になり分かりやすくなっていると思います。小学校のプランに多い少ないがあるように思いますが、数ではなく着実に進めてほしいと思います。

<秋山委員>

今年度はコロナ禍によりイベント等による食育の推進は難しいかもしれません。

一方で、家庭で調理する機会が増えた傾向もあるようですので、食育推進にも影響があることを期待します。特に「三食しっかり食べる」や「確かな目をもって食べる」(強化策でもあり)、また“食育に関心を持つ人の割合”について目標値に近づくのではないかと思います。

<湊委員>

資料を参考にして、今後も地域住民の要望を踏まえ食育推進をすすめ、地域の健康づくりを図って行きたいと考えております。資料は大変参考になっております。

<鹿島委員>

今年は、コロナの影響で、予定していた行事が無くなったり、縮小して行わなければならない、秋に向けての予定も、どうなるか未定です（先が読めない）。衛生管理に重点を置いて、注意深く行っていく事が大切に思います。

<清水委員>

第3次さいたま市食育推進計画 進行管理表（資料1）につきましては、現在までの取り組み状況の推移が時系列でまとめられており、初めて参加させていただき当方と致しましては、非常に分かりやすく、且つ参考になりました。

「食育ナビ」につきましては、早速拝見致しました。新型コロナウイルスの影響で、在宅需要は確実に拡大すると思われ、情報提供の場として、今後更にその役割が重要となる事と思います。

<川島委員>

初めて食育に携わる事になりました。

食育に関わる沢山の事業を、資料を拝見させて頂き、びっくり致しました。今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、思う様に実施出来ないですが、しかたないと思います。

<小澤委員>

食育ナビのアクセス数が順調に伸びているのが、日頃の各団体の取り組みの成果だと思えます。今年度、コロナウイルス感染症の影響から、研修会、講習会の開催が難しいことから、食育ナビの存在は、今まで以上に重要になってくると思います。

<溝口委員>

2018年と2019年では、少しですが朝食を食べている児童・生徒が増えており、安心いたしました。

食育ナビのアクセス数が伸びていますね。レシピは今後もぜひ色々ご紹介いただきたいです。

<江崎委員>

今年度採用ポスターは、「食中毒予防用」として、とても良いと思います。他の重点目標の「非常時に備えること」「食品表示を確認すること」も「賢く食べる」という点で、重要だと思えます。ポスターは可能であれば、小児科への配布・掲示も効果があると思えます。

<中川委員>

さいたま市食育ナビのアクセス数を見るとアグリフェスタやさいたま市農業祭が上位にあがっている。市民がイベントに対して興味を持っていることをうかがわせるものであり、各団体等が開催するイベント等についても効果的な情報発信が可能ではないかと考える。イベント

の周知、参加のきっかけとしての食育ナビの役割も評価してはどうだろうか。

事務局より

新型コロナウイルス感染症の影響により、食育に関するイベントや講座等は、やむを得ず中止となるものがある一方、工夫して実施したり、インターネットを活用したりと、新たな取組も見られます。

いただいた御意見にもありましたとおり、このような状況で、「さいたま市食育ナビ」は情報提供の場として非常に重要であると考えております。この4月～7月のアクセス数は、昨年同時期の1.5倍近くとなっていることから、掲載内容をさらに充実させ、魅力的なサイトにしていくことで、市民の興味・関心を高める好機とも言えます。

より多くの市民へ情報を届けられるよう、ポスターや「市報さいたま」等の紙媒体と合わせ、「さいたま市食育ナビ」や市ホームページ、SNS等を活用した情報の発信に努めてまいります。

(2)「毎年10月は朝ごはんを食べよう強化月間」における啓発について

- ・資料4 リーフレット（案）
- ・（参考資料）「さいたま市農情報ガイドブック（トレトリ）」冊子、マップ

<説明>

本市では、「毎年10月は朝ごはんを食べよう強化月間」として、広報・啓発活動を強化しています。その一環として、啓発用リーフレットを作成します。

資料4は今年度のリーフレット（案）です。ヨーロッパ野菜(※)の一つ「カリフローレ」をテーマに、さいたまヨーロッパ野菜研究会にレシピを考案していただき、リーフレットを作成します。目的は、朝食を食べる市民の増加、朝食で野菜を食べる市民の増加を図ることです。ヨーロッパ野菜で興味を引き、おいしそうなお料理で食べる意欲を高め、簡単なレシピで実践につなげることがねらいです。

令和2年1月30日に開催しました本協議会において委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、カリフローレの食べ方、カリフローレの代わりにカリフラワーで作れること、購入できる場所として「ヨロ研カフェ」の紹介を記載しました。

なお、リーフレットは、公立保育園のすべての児童の保護者へ配布するほか、私立保育園、幼稚園、学校、公共施設等へ配布予定です。

※ヨーロッパ野菜については「さいたま市農情報ガイドブック（トレトリ）」冊子 P25 参照

リーフレット（案）についての御意見、効果的な周知・啓発方法などの御提案（名簿順）

<若杉委員>

カリフローレの朝ごはんという斬新な料理紹介の後に朝ごはんの大切さの説明が入っているとよかったですと思います。順番が逆だとつまらない感じがします。（カリフローレはどのように入手できるのでしょうか。それが分からないとつまずくかも知れません）

<金沢委員>

目新しい野菜でのレシピには興味ありますが、手に入りにくい事もあり、手近な素材のレシピも必要かと思います。

<秋山委員>

周知する方法については賛成いたします。関心をもつだけでも、今後の食育推進のためきっかけにもなると思いますので、頻ぱんに目につく場所に掲示してあると良いと思います。

“カリフローレ”は認知度をこれから上げると思いますので、なぜカリフローレが選ばれたか、似ているカリフラワーと栄養価の違いをアピールしても良いと思います。

ただ、一見して朝ごはんを食べることが分かりづらい印象を受けました。

<加藤委員>

学校給食統一献立ではカリフローレを使ってメニューを立てていましたが、市立保育園では

カリフローレをメニューに組み入れていますか。「保育園でも提供したメニューです」と伝え
ると保護者の受け入れ方もちがってくるのではないかと思います。

<湊委員>

カリフローレのレシピとしての栄養成分は記していますが個としての栄養成分、効果を表示
するとより身近に感じ個が活かされると思います。(五訂にて、カリフラワーは、カリウムが
多く、ミネラル類も多かったです)

今年度“さいたま市5つの「食べる」”の目標“「確かな目をもって」食べる”です。食中毒
予防他要点ですが、コロナ禍の中、作って食べる工程は新型コロナウイルス感染予防の最大の
関心事、食育の観点からも機会があれば、レシピ等の末巻に予防対策を記すことも安心、安全
の工夫の一つかと思います。

<鹿島委員>

- ・推進するには、レシピ例は不可欠です。
- ・料理をしなくても、加工品、冷凍食品との組み合わせも、例として示しても良いと思います。

<清水委員>

カリフローレは、現状ではなかなか目にする機会がない野菜ですので、食べ方を提案する事
によって、興味を持たれる方も多いのではないのでしょうか。

<川島委員>

今年は事業がなかなか進めない中、「朝ごはんを食べよう強化月間」この様なレシピでの食
育ピーアールはさらに、広めていったらと考えます。

<小澤委員>

カリフローレの食べ方が分かりやすく、手軽に食べられそうということが伝わります。
又、メニューものせることで、さらに身近になると思います。食育ナビの QR コード、ヨロ研
カフェの情報も良かったです。

<溝口委員>

朝ごはんとは直接かかわりがあるか、という気もしますが、このコロナ禍の中で、人と人
とのコミュニケーションはとても大切だと思っています。朝ごはんをしっかりと食べることで、脳
と体をしっかり目覚めさせることで、他の人とのコミュニケーションもとれることが、毎日の
生活に大切なことだと感じています。

<江崎委員>

カリフローレが販売されている店舗は、近くのスーパーでは、ほとんど見かけないし、カリ
フラワーも少ないです。ブロッコリーは、販売量も多いし、子供たちも好きな子が多いようで

す。ただ、今回のリーフレットを配布することで「カリフローレ」の認知度が上がり、生産量、購入量共に増加することを期待しております。

朝食用には、不向きですが、我が家では、カリフローレ、カリフラワーは、豚うす切り肉で巻き、フライにして良く食べます。

<中川委員>

カリフローレが前面に出て PR しているみたいで「朝ごはんを食べよう」の趣旨が伝わらないのではないか、これでは何のリーフレットなのか一見して分からない気がする。このリーフレットで伝えたいことは何か、がはっきりしない。裏面の「ポイント」「朝ごはんの役割」ではカリフローレの PR のついでに伝えているように見える。

事務局より

委員の皆様からは、カリフローレやレシピが興味を引くという御意見をいただいた一方、「朝ごはんを食べよう」ということが伝わりにくい、カリフローレの入手が難しいなどの課題や、周知・啓発方法についての御意見をいただきました。

朝ごはんを食べることについては、これまでもリーフレットやポスター、「さいたま市食育なび」等で啓発してまいりましたが、目標指標である「朝食を食べている市民の割合」は改善が見られない状況です。「朝ごはんを食べよう」という呼びかけや、朝ごはんの重要性を伝えるだけでは、市民の実践につなげることは難しいと感じております。

そこで今年度は、ヨーロッパ野菜の珍しさとレシピを前面に押し出すことで、市民の目を引き、興味を持ってもらうことを重視いたしました。また、カリフローレは、[資料4](#)の裏面に掲載しましたとおり、学校給食統一献立で提供した実績があり、ヨーロッパ野菜の中では比較的知られていると考えられることから、今年度はカリフローレをテーマといたしました。

皆様からいただいた御意見を踏まえ、より市民の実践につながる内容に仕上げていきたいと思っております。なお、完成したリーフレットは、「さいたま市食育なび」や市ホームページに掲載し、ダウンロードできるようにする予定です。

公立保育園では、これまで子ども達が食べ慣れているカリフラワーを「花野菜サラダ」などで提供しておりますが、カリフローレを使用したメニューは取り入れておりませんでした。今後は、11月が旬のカリフローレを保育園給食の食材として、サラダ等で取り入れていきたいと考えております。

今年度、本市で制定しました「地産地消の日」（毎月19日）と合わせ、関係部局と連携し、さいたま市産のヨーロッパ野菜等をPRするとともに、朝ごはんを食べることについて効果的な周知・啓発に取り組んでまいります。

(3) 協議会の統合について

- ・資料5 次期食育推進計画について
- ・資料6 国 令和元年度第3回食育推進評価専門委員会 資料（抜粋）
- ・資料7 「さいたま市健康づくり推進協議会」と「さいたま市食育推進協議会」の統合について

<説明>

資料5は、令和2年1月30日に開催しました本協議会において、3つの計画を統合し、次期計画とすることについて、説明した資料です。その際、委員の皆様から修正のご意見がなかったことから、資料のとおり進めております。

次期さいたま市食育推進計画は、国の計画との整合も図ります。資料6は、国の「第4次食育推進基本計画」作成に関する資料です。

計画の統合に先立ち、令和3年度から、本協議会と「さいたま市健康づくり推進協議会」を統合していきたいと考えております。概要は資料7 P1のとおりです。P2は現在の「さいたま市健康づくり推進協議会」の委員構成です。

協議会の統合にあたり、委員の人数、参加団体の分野、課題などについて検討したいと思います。

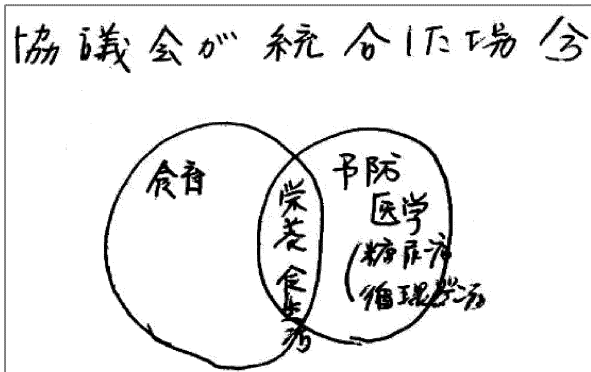
協議会の統合についての御意見（名簿順）

<若杉委員>

病気の予防と食生活は密接に関わりがありますので、食生活を病気の予防ととらえる事ができれば食育の幅が広がるのだと思います。

しかしながら食育の視点（さ・い・た・ま・し）はしっかり残して全年齢を通して共通する食への意識の進行管理を続けていただきたいと考えます。

※協議会の統合には意義はありません。



<金沢委員>

業務に支障なく効率化になるのであれば良いと思います。

<秋山委員>

食育推進の取り組みを横につなげることになると思いますので、ますます実践しやすくなる事が期待できます。

<加藤委員>

政策的な議論も必要かと思いますが、市民代表や保育、教育、医療の現場の声も聞けるような、メンバー構成が良いと思います。

<湊委員>

異議なし

<鹿島委員>

統合に進める事に賛成致します。色々な分野の方が一緒に考える事は良い事だと思います。

<川島委員>

健康づくりと食育推進の統合については、賛成です。関係性は大きいにあると思います。

<小澤委員>

異議なしです。

<溝口委員>

良いと思います。

<江崎委員>

統合は、業務効率化、多角的な視点での内容強化が出来、とても良いと思います。また、歯科口腔保健との連携も乳幼児から、高齢者まで、必要なことだと思います。

<中川委員>

食育の本来の姿は家庭等において市民が市民（親が子に対してなど）に行うものだと思う。そのために家庭等において食育を行う市民を育成することが大切になるが、自分たちが行う食育のプラン・取組が多いように感じる。統合の中で実績をあげやすい活動にかたよらないよう希望する。

事務局より

2つの協議会の統合については修正を求める御意見がありませんでしたので、統合の準備を進めてまいります。

参加団体の構成や、計画の進行管理につきましては、いただいた御意見を踏まえ、本市の食育、健康づくり、歯科口腔保健をより効率的、効果的に推進していけるよう検討してまいります。

◎ その他

(1) 「地産地消の日」について

- ・資料8 「地産地消の日」を制定します（記者発表資料）

<説明>

本市では、資料8のとおり、「地産地消の日」を制定しました。

食育推進と農業振興の連携により、更なる地産地消の推進に取り組みます。

(2) 「さいたま市食事バランスガイド3～5歳児向け」の増刷について

- ・資料9 リーフレット

<説明>

資料9と同じ内容で増刷を予定しています。記載されているエネルギー量は、「日本人の食事摂取基準（2020年版）」に対応しています。

議事の他にいただいた御意見

<秋山委員>

例年とは違う形式で食育推進する方策を検討する必要がでてくるとは思いますが、工夫して取り組みたいと思います。お手数をおかけしますが、何卒よろしくおねがい申し上げます。

<鹿島委員>

皆様、お体を大切になさって下さい。

<清水委員>

微力ながらお役にたてれば幸いです。よろしくお願い致します

<川島委員>

今回、食育推進員にさせて頂きましたので、宜しくお願い致します。

<江崎委員>

細々ではありますが、長年「食育」に携わってきましたが、現代の家庭に「食育」の多くを期待するのは、難しいのではと思います。そこで、現在、各学校で、様々な食育を実践されていることは承知しておりますが、もっと、栄養教諭の質の向上をはかり、もっと、栄養教諭の出番をふやす工夫を行なってほしいと思います。「食育」は、一教科であっても良いとさえ思うのです。

新聞の広告で「1日あと60gの野菜を!」、「どんな方法でもいい。あなたの好きな、あなたらしいやり方で、あと60gの野菜を摂ろう。」と、カラーで、インパクトがあり、これらの文言は、野菜を摂ることへのハードルが下がる、と思いました。

<中川委員>

新型コロナウイルスに伴う新しい生活様式としての食事のあり方と、資料6 P1 第3 1 (2) 主な論点にある「家族が食卓を囲んで共に食事をとりながらコミュニケーションを図る」との整合性について整理してほしい。

事務局より

バランスのよい食事と適度な運動は、健康状態を良好に保ち、生活習慣病の予防につながります。新型コロナウイルス感染症は、食生活に大きな影響を及ぼしておりますが、食育を通して、市民の心身の健康に寄与できるよう、正しい情報の周知等に努めてまいります。

ご意見等記入用紙

お名前：

○議事録の作成及び公開について

「さいたま市附属機関等の会議の公開に関する要綱」に基づき、いただいたご意見を事務局で集約し、会長にご承認をいただいた後、公開させていただきます。なお、このご意見の集約を議事録に代えさせていただきます。また、会議資料や議事録は、各区役所情報公開コーナーに設置するほか、市ホームページに掲載いたします。

このことについて、

異議なし ・ 異議あり

どちらかに○をお願いします。

議事（1）第3次さいたま市食育推進計画の進行管理について 資料1～資料3

議事（2）「毎年10月は朝ごはんを食べよう強化月間」における啓発について 資料4

議事（3）協議会の統合について 資料7

議事のほかにご意見等がありましたらご記入ください。